

## 様式第1号

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第2回 所沢市地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和7年7月25日(金) 午後2時から3時20分まで
開 催 場 所	所沢市役所高層棟6階 604会議室
出席者の氏名	安藤 幸男、粕谷 雅子、守谷 秀子、中野 幸、須田 静男、 楠田 房雄、岩澤 貴顕、秦野 凌、藤田 貢、尾崎 晴男、飯島 勲、 川村 英輝、齋藤 陽介、島根 淳、永井 英喜、肥沼 宏至、 小池 純一、遠藤 弘樹、黛 浩一郎
欠席者の氏名	倉科 大地、霜村 益久、加藤 和伸、関根 肇、小嶋 文、小寺 勝
議 題	(1)富岡地区ところワゴンの本格運行について(諮問) (2)柳瀬地区ところワゴンの本格運行について(諮問) (3)その他
会 議 資 料	・次第 ・資料1-1 富岡地区ところワゴンの本格運行について ・資料1-2 富岡地区ところワゴン路線検討(令和8年3月～本格運行) ・資料2-1 柳瀬地区ところワゴンの本格運行について ・資料2-2 柳瀬地区ところワゴン路線検討(令和8年3月～本格運行) ・資料2-3 令和7年7月現在のルート(柳瀬地区) ・参考資料 ところバス・ところワゴンにおける精神障害者保健福祉手帳の旅客運賃減額第1種の介護人割引適用について
担 当 部 課 名	街づくり計画部：高野次長 都市計画課：増子課長、村田室長、須田副主幹、児玉主査、 田中主任、杉本主任、松岡主任、松田主任 【事務局】：街づくり計画部 都市計画課 電話 04-2998-9192

様式第 2 号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
	<p><b>1 開会</b>            会議成立の報告(出席者 19 名)</p> <p>(以下、尾崎会長が議長となり進行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議は公開</li> <li>・傍聴者：4 人</li> </ul> <p><b>2 議事</b>  <b>(1)富岡地区ところワゴンの本格運行について(諮問)</b>            資料 1-1、1-2 をもとに説明</p>
事務局	
会長	事務局から説明があったが、意見・質問はあるか。
委員	資料 1-2 に「まちづくりセンターの活動開始時間を目安に」とあるが、これは具体的に何時を想定しているのか。
事務局	まちづくりセンターの体育館や会議室等の使用時間は、9 時、11 時、13 時、15 時など、2 時間区切りになっているため、それらの時刻に間に合うようにダイヤを組むことを考えている。
副会長	資料 1-1 にある後続便の発生回数はどのように把握しているのか。
事務局	後続便の発生した便、曜日、場所は、毎月運行事業者から報告を受けている。資料 1-1 にあるとおり、富岡地区のところワゴンを見直した令和 6 年 10 月から令和 7 年 6 月までの発生状況を集計した結果、午前中に集中する傾向があった。
委員	午前中の後続便が多い時間帯の増便は良いとして、地域では北岩岡ルート最終便が早すぎるという意見がある。夕方の時間帯の増便も必要ではないか。
事務局	夕方は踏切での渋滞が長くなることなど課題がある。実際に試走してみ、現実的にどのようなダイヤが組めるのか検討する。

委員	ラーク所沢も、まちづくりセンターと同様、活動開始時間を考慮したダイヤになるのか。
事務局	ラーク所沢は、トレーニングジムであったり、会議であったり、ダンス教室などで利用される施設である。もちろんこちらもダイヤを合わせられればベストだが、全ての施設に合わせていくことは現実的に難しいため、利用者が多い富岡まちづくりセンターの発着時刻をまず考慮した上で、ラーク所沢も検討していくことになる。
会長	本日、富岡地区のところワゴンの本格運行については、諮問が出ている。本日の議論及び地域の意見も踏まえながら、この方向性で進めてもらう形でよろしいか。
各委員	(異議なし)
事務局	<b>(2)柳瀬地区ところワゴンの本格運行について(諮問)</b> 資料 2-1～2-3 をもとに説明
会長	事務局より説明があったが、意見・質問はあるか。
委員	資料 2-1 の利用者数の推移について「頭打ち」と表現されているが、比較対象である見直し前の数字が「令和 6 年 4 月～12 月」の平均であり、季節性を考慮できていない。前年同月比などで比較すべきではないか。
事務局	令和 6 年 4 月から 6 月の利用者数と、令和 7 年 4 月から 6 月の利用者数を比較すると、 4 月：1,293 人 1,231 人(62 人減) 5 月：1,090 人 1,114 人(24 人増) 6 月：1,177 人 1,334 人(157 人増) であり、増加しているとも、減少しているとも言えない。令和 7 年 6 月の数字がやや大きいのは、アンケート実施による一時的な効果だと考えている。
委員	坂之下・城ルートの利用状況やアンケート結果から、通勤利用者が想定され、帰宅時間の便を用意すれば利用者が増やせるのではないかと考えるがどうか。

事務局	<p>指摘のとおり、第1便を利用して通勤している方がいる。また、小中学校での保護者の行事やパークゴルフのプレイ時間などを考慮しても、今よりも少し遅い時間帯を運行することで利用が増える可能性がある。</p>
委員	<p>ところワゴンの運行目的として、昼間時間帯の高齢者の通院や買い物などの利用を中心に据えているものと認識していたが、今話があったように通勤客を取り込むということであれば、エステシティなどの住宅地の本数を増やせば良いように思うがどうか。</p>
事務局	<p>柳瀬地区では、ところバス、ところワゴンを通勤に利用されている方の割合が他の地区よりも高い傾向にある。単純に利用者を増やすということだけを考えれば、エステシティの便数を増やせば良いが、市が行うコミュニティバス・コミュニティワゴンの性質上、市民が公平に移動できるという視点も重視している。</p>
会長	<p>所沢市では、鉄道、バスが地域の移動の多くを支えているが、それでも駅あるいはバス停から遠くに住んでいる方もおり、タクシー、ところバス、ところワゴン、自転車なども組み合わせて、移動に困る方が少なくなるよう、この協議会でも考えていくこととなる。</p>
委員	<p>柳瀬地区は後続便の発生は課題になっていないのか。併せて、富岡地区の台数を2台から3台に増やせば、後続便は減るという認識で良いのか。</p>
事務局	<p>柳瀬地区では、後続便はほとんど発生していない。後続便は、炎天下でところワゴンを待つ利用者にとっても、残った乗客を迎えに行く運転手にとっても大きな負担となっており、富岡地区の台数を増やすのは後続便を減らすことを狙いとしている。</p>
会長	<p>柳瀬地区のところワゴンの本格運行についても、諮問が出ている。本日の議論及び地域の意見も踏まえながら、この方向性で進めてもらう形でよろしいか。</p>
各委員	<p>(異議なし)</p>

委員	<p><b>(3)その他</b></p> <p>・<b>所沢-成田空港連絡バスの運行再開について（バス事業者）</b></p> <p>令和2年度から運休していた、所沢駅・東所沢駅と成田空港をつなぐ連絡バスを、令和7年7月19日から再開した。委員の皆様にもご活用いただくとともに、お知り合いの方々にお知らせいただきたい。外環道の開通により、従前に比べて定時性も上がっている。また、空港連絡バスが発着する東所沢駅の停留所の路面標示の復旧について、関係者の協力に感謝する。</p>
会長	<p>大きな荷物がある旅行の際には、乗り換え無しで空港まで行けるバスは大変使い勝手が良い。利用が増えることを願っている。</p>
事務局	<p>・<b>ところバス・ところワゴンにおける精神障害者保健福祉手帳の旅客運賃減額第1種の介護人割引適用について（事務局）</b></p> <p>参考資料をもとに報告</p>
委員	<p>・<b>障がい者団体からの確認事項について（委員より）</b></p> <p>前回の協議内容について障がい者団体へ持ち帰ったところ、様々な意見があった。</p> <p>まず、三ヶ島地区のところワゴンについて、特定の停留所で後続便が発生する状況であり、増便が求められている。</p> <p>次に鉄道駅の窓口対応の遠隔化について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者には、インターホンの位置がわからないのではないのか。</li> <li>・聴覚障がい者が、音声以外でやりとりする方法があるのか。</li> <li>・車いす利用者の乗降は駅係員の補助が必須だが、対応しているのか。</li> </ul> <p>の3点。</p> <p>鉄道利用者からバリアフリー料金を収受していること、また、障がい者への合理的配慮が法制化されていることを踏まえて、バリアフリーの推進に取り組んでいただきたい。</p> <p>最後に、タクシーについて、タクシーを必要としている高齢者や障害者は配車アプリが使えない方もおり、またアプリで呼んだ場合に割引が適用されるのかが不明瞭で不安を感じる。タクシーを最も利用したい人にとって使いづらくなっている状況で、対応策等を検討していただきたい。</p>
委員	<p>鉄道に関して、内容を整理すると</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目の不自由なお客さまが、インターホンの位置がわからないこと</li> <li>・耳の不自由なお客さまが、音声以外でやりとりする方法</li> </ul>

委員	<p>・車いすをご利用のお客さまの乗降がスムーズに行われる案内方法のご質問と、バリアフリーの推進に関するご意見を承った。 ご質問については、後日、事務局を通して回答させていただきます。</p> <p>所沢駅の中央改札と南改札を結ぶ動線に、点字ブロックを敷設することについても合わせて検討いただきたい。</p>
事務局	<p>三ヶ島地区のところワゴンは、増便することは困難だが、利用が多く後続便が出やすい箇所を通す回数を増やせるよう現在調整中である。</p>
委員	<p>タクシーの不足ということが言われていたが、一時期に比べると改善されてきている。雨天時や集中する時間帯ではお待たせすることもある。埼玉県内では無線配車を行っているため、各事業者へ電話で配車を依頼していただきたい。</p> <p>障がい者割引の適用の有無については、各自治体の取組なので、所沢タクシー協議会に確認の上、事務局を通して回答させていただきます。</p>
事務局	<p><b>次回の協議会の日程について</b></p> <p>令和7年11月7日（金）午後2時からを予定している。 詳細は改めて連絡する。</p>
会長	<p>以上で議事を終了する。</p> <p><b>3 閉会</b></p>